



さとやま

今月の見どころ

雨の季節の花



カキツバタ

緊急事態宣言が解除され、長い自粛生活から徐々に日常へと戻り始めまています。里は雨の季節に入り、菖蒲池ではこの池の主役、ハナショウブが色を増します。

ビオトープではヒメガマ、田んぼエリアやトンボの里ではガマの花も見られます。ビオトープ上の池では、群生しているハンゲショウが見頃になります。藤棚奥の柿畑では、やはりハンゲショウという別名のあるカラスビシャクの変った姿の花がみられます。半夏生とは、夏至から 11 日目の 7 月 2 日頃に当たり、その頃咲く植物なので、名がつけました。

万灯山へ向かう道では、コ克蘭の花があちこちで見られ、背の高いムラサキニガナの群落も見わかります。野鳥の森では、ササユリやイワガラミの花が咲きます。長円寺では、変わったつき方をするボダイジュの花が強い芳香を放っています。

里が再開され、こんな花たちを探ることができるといいですね。



ガマ

ヒメガマ

ハンゲショウ

カラスビシャク

コ克蘭

ムラサキニガナ

ササユリ

ボダイジュ

里の生き物紹介

アジサイとイワガラミ

雨の季節の代表的な花といえばアジサイです。里でも、小草池の道沿いの私有地に植えられています。大きな1つの半球状の花のように見えますが、実は小さな花が集まってできています。

小さな花には、目立つ装飾花と地味な両性花の2種類があります。アジサイの原種は、一般にガクアジサイと呼ばれている、周囲に装飾花、中央に両性花のある姿をしていました。それが改良され、ほとんどが装飾花のものが作られたのが一般のアジサイです。



上の写真は、三ヶ根山で撮ったものです。装飾花の花弁のように見える部分は、実はがくで、その真ん中に小さな花があるのがわかります。アジサイは蕾の状態からがくが開いています。左のアジサイはどれもまだ花が咲いていません。右のガクアジサイは、両性花は咲いた状態ですが、装飾花はまだ咲いていません。このため花期が長いので、長期間楽しむことができますね。

下の写真左は装飾花が咲いた状態です。ちゃんと花弁やしべがあるのがわかります。装飾花はほとんど雌しべが退化していて、種子をつくることはできません。

右は里で咲いていたアジサイですが、装飾花をかき分けると、両性花が見つかります。両性花から種子を採ることで、品種改良することができます。アジサイを見つけたら探してみてください。



野鳥の森から、桜並木を歩いていると、高い木に絡みついて、アジサイによく似た花がたくさん咲いているのを見つけることができます。



これは、同じアジサイ科のイワガラミの花です。つる植物で、木や岩などに絡みつくために名がつけました。

花をよく見ると、装飾花はがくが1枚でその他の部分は退化し、痕跡となっています。

両性花は、花弁が上部で合わさっていて、雄しべが伸びると帽子のように取れてしまいます。

梅雨の晴れ間に、万燈山まで足を伸ばしたら、ぜひ上の方にも目を向けて下さい。



さとやまニュース

前回、タマムシをご紹介しましたが、5月に万灯山へ向かう道で、こんなタマムシの仲間を見つけました。里では初めて目にしました。金蔵光沢があり、タマムシに劣らぬ美しさです。

種名はアオマダラタマムシと言います。タマムシの幼虫は生きたエノキの幹を食べますが、こちらはサクラ・ウメ・ツゲなどの枯れ木を食べるそうです。

この虫を見つけた辺りでは、サクラの葉を巻いたオトシブミが見つかるそうです。また、サクラの倒木もよく見られます。

植物だけでなく、こんな美しい昆虫も探してみてください。



5月の行事紹介



5月に予定されていた行事は、新型コロナウイルスによる閉園で、残念ながら全て中止になってしまいました。

10日に、50名の参加者を募って行われるはずだった「田植え」でしたが、職員のみで作業し、何とかすべての田に稲を植えることができました。

今はまだ小さな苗で、水面ばかりが目立つ田ですが、日ごとに成長し、6月には青々と茂って来ることでしょう。この後も大きな天候被害がなく無事に育って欲しいものです。

コロナが終息し、来園者の戻った里で、収穫の季節を迎え、にぎやかに「稲刈り」・「脱穀」の行事が行われることを祈ってやみません。

6月の行事予定

7日(日)	初夏の花飾りで遊ぼう	20名	AM9:30~11:30	河江喜久代
-------	------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~ 昔に遊んだシロツメクサの花冠や草木で手裏剣などを作って遊びます。

14日(日)	自然を楽しむ俳キング	20名	AM9:30~11:30	服部くらら
--------	------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~ 初夏の里山を吟行しながら題材を決めて俳句を詠み楽しめます。

※ 緊急事態宣言の解除に伴い、6月の講座は3週間前から仮受付をしています。開講する場合は、手洗い、マスク着用など感染予防にご協力ください。なお、感染拡大により「中止」する場合があります。

7月の行事予定

19日(日)	やさしいスケッチ	20名	AM9:30~11:30	石川 利也
26日(日)	里山のキノコを学ぼう	30名	AM9:30~11:30	石川まゆみ

◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。

◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容の変更をすることがあります。

◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。

西尾いきものふれあいの里

◆ ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆ 休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆ 発 行 西尾市環境部環境保全課